

第8回 ジェンダー & アートツアー

石内都展「見える見えない、写真のゆくえ」 の鑑賞と感想などを話し合う

石内都展「見える見えない、写真のゆくえ」をジェンダーの視点で鑑賞(鑑賞は各自で)し、その後お互いの感想を語り合い、ジェンダーとアートについて楽しく学びませんか？
いろんなアートを、ジェンダーの視点で楽しみましょう。

日 時： 2021年7月25日(日) 14:00~15:00

会 場： 尼崎市女性センター・トレピエ

参加費： 無料(飲料代 別途)

対 象： テーマに関心のある方

定 員： 10人

申 込： 電話、来館で トレピエまで 06-6436-6331

主 催： 尼崎市女性センター・トレピエ



指定管理者 NPO 法人男女共同参画ネット尼崎

※ 鑑賞はそれぞれで行ってください。大谷美術館の詳細については、裏面をご覧ください。

【お問い合わせ】

尼崎市女性センター・トレピエ

〒661-0033 尼崎市南武庫之荘 3-36-1

TEL 06-6436-6331

開館時間 火~土曜日 9時~21時

日曜日 9時~17時(月曜日・祝日は休館)

- ※ コロナや警報等、やむを得ない開催の中止や延期の際は、各自にお知らせします。
- ※ お話や飲料を飲む際は、感染防止に努めていただくようご協力お願いいたします。

石内都展「見える見えない、写真のゆくえ」

2021.4.3(土)～7.25(日)

西宮市大谷美術館

<石内都展の案内チラシより抜粋>

日本を代表する写真家、石内都の個展を開催します。石内は1947年に群馬県桐生市生まれ、多摩美術大学で染織を学んだ後、写真を始めました。1977年<絶唱、横須賀ストーリー>を初個展で発表。1979年に<APARTMENT>で木村伊兵衛賞を受賞。以後、石内は赤線跡の建物、身体にのこる傷跡、母親の下着や口紅といった遺品などを撮ることで、目には見えない「時間」を写真に写し込む試みを続けてきました。2005年にヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家として選出されました。2014年ハッセルブラッド国際写真賞を受賞。本展では初期作の<連夜の街>(ヴィンテージプリント)をはじめ、代表的なシリーズの原爆による被爆者の遺品を写した<ひろしま>、フリーダ・カーロの遺品を被写体とした<Frida by Ishiuchi> <Frida Love and Pain>を展示。それに加え、これまで発表機会の少なかった薔薇やサボテンを撮ったシリーズ、国内では初公開の<Moving Away>、そして新作<The Drowned>を展示することで、石内の写真の新たな一面をご紹介します。

関連イベントとして開催された石内都×小川洋子(作家)の対談の動画を You Tube で公開中

http://otanimuseum.jp/exhibition_event.html

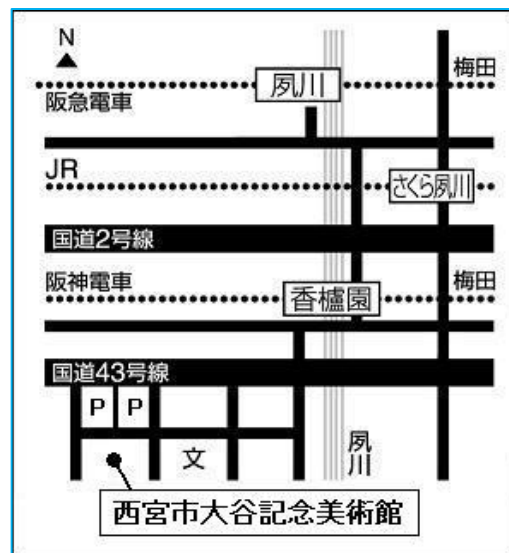
会場：西宮市大谷記念美術館
<http://otanimuseum.jp/about.html>
西宮市中浜町4番38号
TEL 0798-33-0164

会期：7月25日(日)まで 水曜日休館
開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)

入館料：1,000円

最寄駅：阪神電車「香櫨園」駅 徒歩6分
JR「さくら夙川」駅 徒歩15分
阪急電車「夙川」駅 徒歩18分

*新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止のため会期の変更、入場制限を行う場合があります。



ジェンダー&アートツアーは、フェミニズムの視点から美術鑑賞を楽しむ、NPO法人男女共同参画ネット尼崎のオリジナル企画です

